

第2号様式（第3関係）

第7回豊山町中学校施設整備基本構想会議議事録

1 開催日時 令和4年3月28日（月） 午後3時00分～

2 開催場所 豊山町役場 4階 研修室2

3 出席者

名古屋市立大学芸術工学研究科 教授	鈴木 賢 一	（会長）
愛知工業大学工学部 教授	鈴木 森 晶	（副会長）
社会福祉法人豊山町社会福祉協議会 会長	池 山 和 徳	
豊山中学校 校長	篠 田 弘 男	
豊山町議会 議長	水 野 晃	
豊山中学校PTA 顧問	小 川 晃 永	

事務局

教育長	北 川 昌 宏
事務局長	安 藤 憲 司
教育参事	小 川 貴
事務局学校教育課長	井 戸 茂 治
事務局学校教育課学校教育係長	菊 地 智 行
事務局学校教育課学校教育係主任	安 藤 幸 雄
産業建設部建設課参事	大 見 明 弘
産業建設部建設課土木・農政係主事	上 田 卓

阪急コンストラクション・マネジメント株式会社

名古屋事務所 営業部部長兼名古屋事務所副所長	杉 田 昌 彦
東京本店 CM部 チーフマネジャー	佐 藤 学
名古屋事務所 CM部 チーフマネジャー	山 口 友 香 理
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	
政策研究事業本部 名古屋本部 主任研究員	岩 田 雄 三

4 欠席者

中部大学人間力創成総合教育センター 教授	武者 一 弘
愛知教育大学教育学部 教授	風岡 治
愛知学泉大学家政学部 教授	前田 治

5 傍聴者

坪井 孝 仁
古谷 博 子
作野 桂 子

6 議題

- (1) 町民アンケート結果について
- (2) 目指すべき中学校のあり方について—最終まとめ案—

7 会議資料

次第

目指すべき中学校のあり方 最終まとめ案

8 議事内容

(1) 挨拶、連絡事項等

教育長：今日は、町民アンケートの結果とその結果を踏まえて作成した最終まとめ素案の検討をお願いしたい。

(2) 議題

【(1) 町民アンケート結果について】

・2月に実施した町民アンケートの結果について、「目指すべき中学校のあり方—最終まとめ案—」資料4により事務局説明

委員：回答率が33.65%とあるが、一般的に平均的な結果か。

事務局：役場で実施しているその他アンケート結果について、本日詳細なデータは持ち合わせていないが、先日防災拠点関係で行った町民アンケートでは、25%程度であったと聞いている。毎年町で行っている町民意識調査も同じような割合と聞いている。

会長：自身の研究からもアンケートを行うが、2割～3割が多いので今回の結果はやや高いと思う。

委員：問9で「現在の場所が良い」と回答された方は、どの小学校区が多いのか。

事務局：豊山小学校区が多かったと思う。

委員：現在の場所が良いとあるその他同意見の15件の内訳が知りたい。併せて移転新築が良いという意見の内訳も知りたい。

会長：事務局より後日回答をしてほしい。

会長：問3で「知らない」の回答となっているが、今回の計画を町民が知る手立てはどのようになっているか。

事務局：豊山町学校施設改築・長寿命化計画をホームページで掲載している。また、この構想会議を開始した6月には、中日新聞に掲載された。町議会でも議事録や議会便りなどで掲載されている。

会長：後に知らなかったと言われることが最後にでてくるので、積極的にPRを行うと良い。「聞いたことがある」という方にも、中身を知って頂くことが必要である。

【(2) 目指すべき中学校のあり方についてー最終まとめ案ー】

- ・「目指すべき中学校のあり方ー最終まとめ案ー」について、中間まとめ以降のアンケートの結果等を踏まえて一部追記した項目等を中心に事務局説明。

会長：最終まとめ案として資料1～4があるということによろしいか。

事務局：はい。

委員：町民アンケートでもそうだが、表記が「中学校の改築」となっている。新築と直してはどうか。

会長：混乱しているのであれば、どこかで整合をとらなければならない。

教育長：長寿命化計画で使用していたものを転用していたが、建築基準法や文科省の補助要項などを参考に整理する。

副会長：資料1の候補地2について、地図上では現在8か所示されているが、その中で現実的に可能な場所に絞れないか。そのうえで候補地1～3の比較ができるかと思う。

会長：現在は、5,000㎡以上の町有地を示してはあるが、そこから絞った状態ではない。

教育長：「目指すべき中学校のあり方ー最終まとめ案ー」では、現状以上の敷地面積が望ましいとされている。候補地2の中では、⑤豊山スカイプール+駐車場、⑥豊山グラウンドが有力となってくるが、どこまで言及するかご意見があれば頂きたい。

会長：この段階では、大きな候補が3つあるだけで、どれが良いという評価まではされていない。

委員：現状以上の敷地面積が望ましいとのことだが、中学校の階数はどの程度まで可能か。建物高さを高くすることはできないのか。4階以上の中学校はあるのか。

事務局：4階以上の中学校はある。ただし、4階以上となると建物の耐火要件が厳しくなる。

委員：現在の敷地ではどの程度の高さの建物が建てられるか。

事務局：現中学校は高さの制限があり、20m高度地区内となる。

会長：教育上は、上下階の移動や避難を考慮すると3階以下が望ましいが、狭小敷地では高層化する場合もある。豊山町の立地を考えると、あまり高層化は相応しくないかと思う。

委員：北名古屋市立熊野中学校は、一定の敷地がある中での4階建である。

会長：恐らく建設当時に何かの事情で決められたのだと思う。

副会長：資料1の比較表でも候補地1と3は埋まっているが、候補地2についてはほとんど内容が記載できていない。候補地を決めるわけではないが、候補地2を絞ると問題点が見えてくるのではないか。候補地に小学校や庁舎などが入っていると違和感がある。

会長：事務局で持ち帰って検討して頂きたい。

教育長：15,000～20,000㎡程度を確保できるところを記載できるか検討する。

委員：16頁の災害に対応した学校について、様々な写真を提示しているが、実際に中学校でどこまで対応できるかが不明である。また、3小学校で災害対応をしてもらえると良い。

教育長：災害に対応した学校については2つの意味があり、1つ目は、地震時に子ども達を守れる安全な学校であり、現在は小中学校とも耐震改修は終わっている。2つ目は、避難所としての機能があるかについてだが、体育館の空調やトイレ整備の面では小中学校共に十分とは言えない。新しい学校では、避難所としての機能を採用したものとしなければならないと考えている。

会長：前半については当然行われているものだが、後半については、避難所として一定レベルのものを整備するということになる。

委員：文科省のGIGAスクール構想の実例で、クラウドにアクセスできるシステムがあり共有できるようになっていた。大容量ネットワークなど具体的な表記でないと、6頁の通信環境の整備という言葉では読み飛ばされる可能性がある。もう少し具体的に表現してほしい。

会長：現場の教師が一番困っていることだと思う。設備を支給するのは良いが、教えることのできる先生も不足している。クラウドの活用についても整備されておらず、現場の先生が困っているかと思う。

副会長：5年前に主流だったインフラが既に使えなくなっている。机上にも情報コンセントと電源コンセントがあるが使われていないのが現実である。言葉で書いておくことも大事だが、この先フレキシブルに対応できるような仕組みをしておくだけで良いと思う。LANケーブルも基幹の部分しか存在

せず、ほぼ無縁に切り替わっている。文章として詳細を記載することはないが、施工段階で重要性を伝えるようにしてほしい。その際には、現場の意見をよく聞き、基本骨格として高くなる仕組みを入れるようにする程度の記載で良いと思う。

会長：豊山中学校が教育のどこに力を入れるのかが重要。中学校の目指す姿や特色があると良い。しかし、最後は現場の先生が使い易くなければならない。ソフト面の会議を開催されることが望ましい。情報関係については、今一番見えていないところだと思う。

委員：新しい情報を調べていただき、次のステップで繋げて頂きたい。

副会長：12頁のLGBTはLGBTQとしてほしい。

会長：ジェンダーの話もあるが、学校に通えない子や特別支援の話もある。今後は、特別支援が必要な子も増えてくるので、どのように対応するのか。ソフトがあつてのハードだと思うので、それらを特筆して書けると良い。最終まとめのどこかに記載して頂きたい。

委員：8頁の35人学級について、文科省では記載の通りではあるが、文科省より愛知県の措置の方が進んでおり、現在豊山中学校では、1年生については35人学級、2～3年生では40人学級となっている。実際に導入はされているので、それが分かるような表記としてほしい。今後は、全ての学年で35人学級またはもっと少人数の学級は実現していくと思う。

また、10頁の1学年180人前後を想定についても、現在で1年生は190名で6クラス、それが4月から2年生になると5クラスとなる。県の措置で1年生は35人学級であるが、表現として35人をより上回る表現の方が良いかと思う。

会長：それでは、本日挙げた敷地の件や、GIGAスクール、35人学級などの表現など、委員からの意見を反映しまとめて頂きたい。

教育長：反映したものを次回第8回構想会議で最後に見て頂くということで良いか。

会長：そのような形で良い。

9 その他

- ・ 次回の構想会議は6月頃開催する旨、事務局説明。

上記のとおり第7回豊山町中学校施設整備基本構想会議の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

令和4年4月15日

会 長 鈴 木 賢 一

署名人 池 山 和 徳